

#### 4. 安全・安心子育てのまち うらやす

##### 子育てにやさしいまちづくりの推進

事業番号	78	事業名	子育てハンドブック(マップ等)の作成・配布	担当課	こども家庭課
計画内容	<p>子育てに関する情報提供の充実を図るため、妊娠、出産、子育てに関する情報を集めた子育てハンドブック(マップ等)の作成・配布を行います。</p>				
	平成15年度実績	母子健康手帳交付時に配布 作成数 2,000部	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<p>母子保健サービスの流れや市内医療機関の紹介、経済支援、相談機関の紹介、関係公共機関の案内等、就学前の子どもの育児に関する市の制度等を掲載したハンドブックに、市民編集委員を公募し子育てマップを作成。また、昨年度に引き続き、子育てエピソードを公募し漫画化して掲載したページや、市民編集委員からの体験を基にし、ワンポイントアドバイスのページを盛り込んだものにした。</p> <p>平成21年度実績 印刷部数 8,000部</p> <p>子育てハンドブックを作成・配布することにより、就学前の子どもを持つ家庭が、市の制度や育児に関する正しい知識を得ることができる。 発行を10月にしたため、保育園、幼稚園の入園手続きまでに新しい情報を提供することができた。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>母子保健サービスに限らず、就学前の子どもの育児に関する市の制度等を掲載したハンドブックとなった。また、漫画のページ、市民の方の子育てエピソードを掲載したことにより、手にとり易い形にすることができた。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	さらに、充実させていく				

事業番号	79	事業名	交通安全施設整備の推進	担当課	交通安全課
計画内容	<p>道路反射鏡や道路標識等交通安全施設の設置や補修の要望を受け、警察などの関係機関等と協議を図りながら、施設整備を推進します。</p>				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	推進	
平成21年度 実施状況と評価	<p>道路反射鏡 補修 21カ所</p> <p>交通安全施設整備については、必要箇所への新規設置及び補修を行った。 なお、通学路道路への路面標示等の新規設置については、各施設及び市民からの要望により、警察等と協議を図り設置、補修を行っている。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>交通安全施設整備については、各施設及び市民からの要望等のうち必要と認められた箇所、警察等関係機関と協議を図り設置、補修を行った。</p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>保育園、幼稚園、小・中学校等の各施設や市民からの要望による交通安全施設整備については、必要性について、優先順位を設定しつつ、併せて警察等の関係機関と協議しながら整備していく。</p>				

事業番号	80	事業名	交通バリアフリー基本構想によるバリアフリーの推進		担当課	都市政策課 (土木課)
計画内容	<p>小さな子どもがいても安心・快適に外出できる子育てにやさしいまちづくりを目指して、道路や交通機関のバリアフリー化を推進します。</p>					
	平成15年度実績	0%	平成21年度目標	88.78%	*22年度目標値	100%
平成21年度 実施状況と評価	<p>平成16年度に策定した「浦安市交通バリアフリー道路特定事業計画」（平成17年7月公表）に基づき、JR京葉線新浦安駅駅舎北側にエレベーターを1基設置する工事を実施した。 昨年、JR京葉線新浦安駅前広場側にエレベーターを設置しており、今年度は反対側の北口にエレベーターを設置されることにより、高齢者や障がい者等の駅利用者の方々が円滑に通行できる導線が確保された。</p>					
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>新浦安駅と公共施設や商業施設を結ぶ導線の点字ブロックの設置や歩道の段差解消、エレベーターの設置等のバリアフリー化が計画的に進められており、高齢者や障がい者の方々にとって、新浦安駅周辺の道路が安全で通行しやすい道路環境が整備されてきている。</p>					
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>交通バリアフリー道路特定事業計画は、新浦安駅から市役所までの境川沿いの両岸歩道のバリアフリー化工事を平成22年度に予定している。また、今後の課題としては、バリアフリー新法の制定により、新浦安駅周辺のバリアフリーの事業計画が完了した後、新たな区域での整備計画の作成が必要になる。</p>					

事業番号	81	事業名	公園の整備推進		担当課	みどり公園課
計画内容	<p>周辺環境の変化や利用実態、市民ニーズ等を踏まえ、緑あふれる地域に親しまれる公園の整備を推進します。なお、総合公園・弁天ふれあいの森公園・墓地公園の整備事業を計画します。</p>					
	平成15年度実績	110	平成21年度目標	推進		
平成21年度 実施状況と評価	<p>浦安東地区9号街区公園・・・工事完了（面積0.25ha） 高洲地区街区公園・・・・・・工事完了（面積0.25ha） いこいの広場街区公園（弁天）・・・工事完了（面積0.05ha）</p> <p>公園整備に関しては、予定どおり進捗している。</p>					
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p>平成17年度から平成21年度までに新設12箇所、改修による拡張を2箇所を行い、22haの公園を整備しました。</p>					
平成22年度 事業予定と 今後の課題						

事業番号	82	事業名	小学校及び中学校の整備(再掲)	担当課	学務課 (教育施設課)
計画内容	住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ、学校の整備に取り組み、教育環境整備を推進します。				
	平成15年度実績	小学校14校・中学校7校	平成21年度目標	小学校17校・中学校8校	
平成21年度 実施状況と評価	<p>小学校 17校 児童数 11,016人、学級数 336学級（特別支援学級 13学級）          中学校 8校 生徒数 3,650人、学級数 108学級（特別支援学級 8学級）          （平成21年5月1日現在）</p> <p>第2次学校適正配置等推進検討委員会議 3回開催          同上（内部委員会として）部会の開催 3回開催          高洲地区新設中学校建設検討委員会の開催 3回開催          （平成22年3月31日現在）</p> <p>20年度の検討委員会の結果を受けて市教育委員会で「浦安市における学校配置の適正化にむけての基本方針」を策定した。21年度は、その推進にあたり具現化を図るための課題や問題点を整理し、具体的なスケジュール等を検討するための推進会議を設置した。          第2次学校適正配置等推進検討委員会は、年度内3回の検討会議を開催し、適正規模や適正配置の考え方を整理し、大規模校対策と小規模校対策の基本方針を確認した。          小規模校対策として、具体的には中町地区に関係する方を中心とした検討委員から、それぞれの立場から問題点や課題点等の意見を伺い、現状の把握に努めた。また、中町地区の中学校の将来生徒数の推計等から、引き続き高洲地区の児童生徒数の推移の比較検討を進めている。          本年度の話し合いの結果から、来年度以降この事業を具体的に進めていく。第9中学校の建設計画と並行して検討していく。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	平成17年度に日の出南小学校、平成18年度には明海南小学校、高洲北小学校、明海中学校と新設開校してきた。また、平成22年4月には市内18番目の小学校として東野小学校を開校した。一方で中町地区の小学校が200名以下の学年単学級の学校が存在するなど、学校間規模の差もあり、よりよい教育環境の整備という視点で検討委員会を設けて検討してきた。「浦安市における学校配置の適正化に向けての基本方針」は、高洲中学校の建設の次の事業を進めることにより、より具現化されていく。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>本検討委員会は21 本検討委員会は21年度末で解散するが、引き続き問題点や課題点を具体的に          対応していくための検討を進めていくため適宜開催し検討していく予定である。          具体的には「学校統合に向けた検討委員会」を発足し、学校統合を果たした上で小中連携校の設          立に総力を注ぐ。22年度はその初年度として、学校統合に関する骨子を策定し、パブリックコメ          ントを収集し分析して、23年度からの地域住民等への説明会などの資料としたい。地域住民の同          意・協力が得られるように、小規模校対策や小中連携校に関する先進的な取り組みをしている自治          体の活動を参考にするとともに、当該地域の現状の把握や課題の整理に努める。</p>				

事業番号	83	事業名	保育園の整備(再掲)	担当課	保育幼稚園課
計画内容	共働き、出産や病気、病人の介護などのため、家庭で保育ができない保護者に代わって、乳幼児を認可保育園で保育します。住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ、計画的整備を進めるとともに、多様な保育サービスを提供するなどの充実に取り組みます。				
	平成15年度実績	10園	平成21年度目標	16園	
平成21年度 実施状況と評価	<p>高洲保育園に定員66人の増設設備工事を実施した。</p> <p>(内訳) 1歳児クラス 9人 2歳児クラス 12人 3歳児クラス 15人 4歳児クラス 15人          5歳児クラス 15人</p> <p>高洲保育園の増設設備工事を実施し、待機児童の解消に努めた。今後、元町地域に新たな保育園の開設を計画している。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	平成17年度～21年度までに保育所を4園(定員490人)整備し、市内の保育園は15園となった。また高洲保育園に66人規模の施設を増設し、待機児童解消に努めたが、待機児童ゼロには至っていない。				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	今後については、住宅開発や居住世帯の年齢構成等を鑑みつつ計画的に保育所整備を進めていくこととし、また、既存保育所の老朽化に伴う建替え・改修、多様な保育サービスの提供についても併せて検討する。				

事業番号	84	事業名	幼稚園・小学校・中学校への就学支援事業(まなびサポート事業)の実施	担当課	指導課				
計画内容	<p>公立幼・小・中学校に在籍する障がいのある幼児・児童・生徒及び保護者の就学支援に関する相談事業を実施します。</p> <table border="1"> <tr> <td>平成15年度実績</td> <td>相談 延べ215件</td> <td>平成21年度目標</td> <td>継続</td> </tr> </table>					平成15年度実績	相談 延べ215件	平成21年度目標	継続
平成15年度実績	相談 延べ215件	平成21年度目標	継続						
平成21年度 実施状況と評価	<p>市立幼稚園、保育園、小・中学校に在籍する特別な教育的支援を必要とする子どもとその保護者及び教職員を支援していくために18年度より「まなびサポート」事業を開始した。具体的な支援として、来所相談、園や学校への巡回相談、巡回での学級担任（保育士）や補助教員へ具体的な支援方法について助言を行なった。また、各種発達検査の実施や階層別研修会の開催、各校（園）内体制の整備に関する助言を行なった。就学支援として就学相談会の実施や就学に係る学校見学や体験入学の案内を行なった。20年度より医師や専門相談員が加わり、まなびサポートチームとして就学に関する保護者の要望等に対応している。</p> <p>平成21年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>来所（教育研究センター、まなびサポート相談室）の相談回数</td> <td>592回</td> </tr> <tr> <td>幼稚園、保育園、小・中学校に巡回した回数</td> <td>731回</td> </tr> </table> <p>本事業は担当指導主事、指導員、相談員（臨床心理、言語聴覚、理学療法、作業療法の資格を有する）で12保育園、14幼稚園、17小学校、8中学校の幼児児童生徒、保護者及び園、学校のニーズに対応している。21年度も3名の医師が月1回参加し、医療面の助言を行っている。</p>					来所（教育研究センター、まなびサポート相談室）の相談回数	592回	幼稚園、保育園、小・中学校に巡回した回数	731回
来所（教育研究センター、まなびサポート相談室）の相談回数	592回								
幼稚園、保育園、小・中学校に巡回した回数	731回								
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>就学支援事業を引き継ぐ事業であるため、就学支援体制の充実、就学後のフォローアップを含めた園、学校への訪問や相談活動体制の充実を図ってきた。平成19年度より保育園も対象としたことで訪問や相談の数は年々増えている。また平成20年度より医師を交えた専門家によるチーム体制をスタートさせることができた。</b></p>								
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの「まなびサポート」事業をふまえ、就学前幼児についてきめ細かな相談を行うとともに関係機関と連携を図り、就学先での教育支援への円滑な移行に努める。</li> <li>各園・各校の校内体制が機能するよう補助教員の配置と活用を見直すとともに一人一人の教育的なニーズに応じた指導や支援が展開されるよう個別の指導計画の作成がすすむように努める。</li> <li>特別な教育的支援を必要とする児童生徒の中には不登校や生徒指導上の問題を抱えている場合もあり、教育相談室やこども発達センター等との連携が不可欠である。</li> </ul>								

子どもたちの安全を見守る環境の整備

事業番号	85	事業名	学校等における交通安全教室の実施	担当課	保健体育安全課
計画内容	幼稚園、保育園、小学校などを対象とした交通安全教室を開催し、子どもたちの日常生活上の交通安全を推進します。				
	平成15年度実績	小学校14校・保育園・幼稚園も実施	平成21年度目標	継続	
平成21年度 実施状況と評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春、夏、秋、冬の各交通安全運動の実施・・・市立全幼稚園、小・中学校</li> <li>・交通安全教室の実施・・・市立全小学校（17校）1年生児童1,899名</li> <li>・自転車安全運転教室の実施・・・市立小学校（8校）3年生児童915名</li> </ul> <p>・交通安全運動では、各学校（園）で講話・紙芝居・実技指導・登下校の観察指導・通学路の点検等を実施し、交通事故防止の徹底を図ることができた。</p> <p>・交通安全教室では、1年生児童を対象に安全な歩行について交通安全課職員による指導を受け横断歩道の正しい渡り方等実践的に学ぶことができた。</p> <p>・自転車安全運転教室では、3年生児童を対象に自転車の点検の仕方、安全な乗り方について浦安警察署及び交通安全課職員による指導を受け実践的に学ぶことができた。</p> <p>また、筆記試験及び実技試験を実施し、受講児童に自転車運転免許書が発行された。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>交通安全教室については、本市交通課の全面的な協力を得て、小学校1年生児童を対象に全校で実施されるようになった。</b></p> <p><b>自転車安全運転教室については、警察や本市交通課等の協力もあって毎年実施校が増加している。</b></p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	本事業を廃止し、新たな事業として「交通事故防止対策等の充実」を立ち上げ、交通安全教室、自転車安全運転教室は、交通安全教育の一環として安全指導の年間行事に組み入れて今後継続して推進していきたい。				

事業番号	86	事業名	応急手当講習会の充実	担当課	消防本部 警防課
計画内容	普通救命講習等の応急手当方法の習得と普及を推進し、救命率の向上に努めます。				
	平成15年度実績	普通救命 60回.その他 29回	平成21年度目標	充実	
平成21年度 実施状況と評価	<p>21年度（平成22年3月末現在）</p> <p>普通救命講習 95回 937人</p> <p>普通救命講習 30回 362人</p> <p>その他の講習 35回 692人</p> <p>合 計 160回 1,991人</p> <p>従来どおり応急手当講習会を実施したが、講習回数は前年比で7%減少している。しかしながら、自動体外式除細動器（AED）や応急手当に関する市民の関心は依然として高い状態である。また、今年度は民間の事業所を対象に応急手当普及員の養成講習を実施し、9名の普及員を養成した。</p> <p>平成21年12月末現在 実績値 普通救命 125回、その他 35回</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<p><b>事業内容の充実を図ることができた。AEDが普及したことで、応急手当に対する市民の関心が高まり、講習会の開催回数は15年度から21年度までの実績で108%増加した。</b></p>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>E Dの普及に伴い市民の関心は依然として高く、応急手当講習会の回数が大幅に減少することは考えられないが、大幅な増加も期待できないため、民間事業所の応急手当普及員による講習会の充実等の新たな方法を模索しなければならない。</p> <p>また、講習会の増加に伴い、指導員の負担の増加が続いていることから、消防団員の指導員の養成、及び指導員資格を持つ退職者の活用により対処する予定である。</p>				

事業番号	87	事業名	いちょう110番の拡充	担当課	青少年課
計画内容	浦安市青少年健全育成連絡会が主体となり、浦安警察署、浦安市防犯協会、市民等の協力のもと、子どもたちが身近に緊急避難できる場所を設置していきます。				
	平成15年度実績	575か所	平成21年度目標	拡充	
平成21年度 実施状況と評価	<p>浦安市健全育成連絡会が主体となって「いちょう110番の家」の市民の理解を得て協力して頂ける家（民家・事業所を問わず）を増やしている。平成21年度末現在719か所。</p> <p>最近の児童への犯罪が多発している関係で、青少年健全育成連絡会・防犯課・指導課・青少年課・青少年センターを中心とした、幼児・児童・生徒の安全確保の協力体制を再確認。</p> <p>各地区における防犯マップづくりなどに役立っている。</p> <p>浦安市健全育成連絡会が主体となって行っているものであり、児童の安全確保という今一番の問題を平成11年度から実施しているものであり、高く評価できるものである。</p> <p>今後の課題としては、古いデータの整理も含め、加入者名簿の作成を実施していきたい。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<b>毎年、地域の健全育成連絡会で啓発し協力者を募ってきた。広報誌での呼びかけなども行い、多くの方々に協力していただいている。地域によってはマップを作るなど、子どもの安全・安心を推進する活動にも活用されてきている。</b>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	浦安市健全育成連絡会と話し合いを進めるとともに、引き続き協力いただける家を増やすと共に、関係機関の取込みを図っていきたい。				

事業番号	88	事業名	街灯設置の推進	担当課	道路管理課
計画内容	犯罪防止の観点からも街灯の照度を上げ、明るいまちづくりを目指して街灯の設置を推進します。				
	平成15年度実績	市内約12,000本設置	平成21年度目標	市内約13,000本	
平成21年度 実施状況と評価	<p>シンボルロード車道灯を再整備することにより、より安全で快適な生活空間をつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シンボルロードの車道灯改修を平成22年3月に実施した。</li> </ul> <p>街灯を再整備することにより、既設街灯以上の照度を確保しながら、効果的・経済的整備（省エネルギー・コスト削減）を行うことができた。</p> <p>ナトリウム灯の使用による長寿命化・照度向上等、地球温暖化に対する小さな取り組みの積み重ねの重要性を考える機会となる。</p>				
前期計画期間 を通しての 事業評価	<b>財政状況の厳しい中、さまざまな工夫により、確実に二酸化炭素の削減と経費の節減に成功いたしております。特に不用老朽街灯の除去につきましては、かなりの進捗が見られ一定の成果が得られております。</b>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>まず、平成22年度は、舞浜地区の老朽化した車道照明の改修を行い、その他の地区におきましては、維持補修によりCO2削減に努めてまいります。</p> <p>通勤・通学路及び避難路につきましては、防災・犯罪防止の観点からも街灯の照度を上げ、明るいまちづくりを目指して街灯の設置を推進していきます。</p> <p>今後の課題につきましては、以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不要補助灯具を減らし、災害時の頭上の安全性を向上させる。</li> <li>電線類の地中線化を促進し、災害時の上空の安全性を向上させる。</li> <li>学校近辺の照度を向上させ、防犯上の安全性と安心感の向上を図る。</li> <li>化石燃料に頼らない街灯点灯システムの検討。</li> <li>維持管理性能の向上。</li> </ul>				

事業番号	89	事業名	市民防犯パトロールの充実	担当課	防犯課
計画内容	子どもたちをはじめとする市民の安全を確保するため、自治会やPTA、愛犬家グループなど各種市民団体が自主防犯パトロールを行っています。「地域の安全安心は地域の手で」をスローガンに、市民や関連機関が協働して、身近な地域の安全確保を推進します。				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	充実	
平成21年度 実施状況と評価	<p>自治会、PTAなどの自主防犯活動を行う団体に対し、パトロール用品の支援をした。防犯パトロール車及び防犯バイクの貸し出しを積極的に行った。青色回転灯付車両を使用した防犯パトロールが効果的に行えるよう、青色防犯パトロール講習会を開催し、許可団体の増大を図った。市民まつり等のイベント会場で防犯ボランティア（個人）の登録募集を行った。</p> <p>子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」に向け、市の責務とする、情報の発信、自主防犯活動の支援、児童の安全対策に則り実施できたことは評価できる。</p> <p>犯罪人知件数を23年までに2,500件以下にする目標の達成を目指す。 平成22年3月末現在 実績値 犯罪認知件数：2,677件（暫定値）</p>				
前期計画期間を通しての 事業評価	<b>概ね計画どおり事業が遂行できた。</b>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	今後も、自主防犯活動を行う団体が活発に活動できるように情報提供や講習会の開催、物資類の提供を行う、併せて警察署や関係機関と連携を図り、自主防犯活動団体の現状等の把握に努め、防犯活動が継続されていくよう支援を図っていく。				

事業番号	90	事業名	地域防犯ネットワークの構築	担当課	防犯課
計画内容	地域における子どもたちの安全を確保するため、関連機関や市民の協力のもと、地域防犯ネットワークの構築を推進します。				
	平成15年度実績	-	平成21年度目標	構築及び連携強化	
平成21年度 実施状況と評価	<p>平成17年度から実施している。「防犯かけこみ110番の店」協力店舗及び「事業者パトロール隊」参加事業者の拡充を行った。防犯協会ホームページや安全安心メール、また市内3駅に設置している「防犯かわら版」を活用し、犯罪発生などの情報提供を行った。</p> <p>中学校区を一単位とした「見守り活動支援事業」として、同区域内で防犯活動を実施している各団体が情報を共有し、効率よく且つ効果的な活動が行えるよう情報交換会を開催した。</p> <p>子育て支援総合計画に掲げる事業については、浦安市防犯計画の目標とする、「市民が安心して生活することができる地域社会の実現」に向け、市の責務とする、情報の発信、自主防犯活動の支援、児童の安全対策に則り実施できたことは評価できる。</p> <p>犯罪人知件数を23年までに2,500件以下にする目標の達成を目指す。 平成22年3月末現在 実績値 犯罪認知件数：2,677件（暫定値）</p>				
前期計画期間を通しての 事業評価	<b>概ね、計画どおり事業が遂行できている。</b>				
平成22年度 事業予定と 今後の課題	<p>防犯かけこみ110番店舗、事業者パトロール隊の拡充と合わせ、これら協力者と連携強化を図って行く。</p> <p>「防犯かわら版」などで提供する防犯情報の内容の充実を図っていく。</p> <p>中学校区を一単位とした「見守り活動支援事業」の組織拡充と継続的な活動を定着させていく。</p>				